

令和5年度 シラバス

整理番号

F国表16_A2

教科名	国語	科目名	国語表現		
履修学年	2年 アドバンスコース	履修	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	単位数	2 単位
使用教科書 副教材等	国語表現 大修館書店 国語表現 基礎演習ノート 大修館書店				
学習の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

●どのような力を、どのレベルまで身につけるのか【目指す能力とその次元】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	現代の高校生が日常生活や社会生活の中で必要とされる表現力や読み手に自分の思いや考えを伝える力を、基礎から着実に身につける。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
評価方法	定期考査や小テスト（知識・理解）、授業内で使用、作成したプリントを中心に総合的に判断して行う。	グループによる対話・学習に付随して、発表の授業（思考・判断・態度）とレポート、または作成したデータの提出をしてもらう。	グループ学習で生徒相互による評価も行い、主体的に発言や提言をすることができているかと提出物の内容で総合的に判断する。

●いつ、何を学ぶか【学習内容】

学期	学習内容	学習活動・ねらい
1 学期	第1部 1 言葉と出会う 1 言葉と表記 2 整った文を書く 3 相手に応じた言葉遣い 4 わかりやすい文を書く 5 文のつなぎ方 2 伝える、伝え合う 1 自己紹介ゲーム 2 言葉のストレッチ体操 3 絵や写真を見て書く 4 マイニュース記事を書こう	・書き言葉の特徴について理解を深め、自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもち、相手に伝えることの大切さを理解してもらう。
2 学期	3 小論文・レポート入門 1 小論文とは何か 2 反論を想定して書く 3 文章を読み取って書く 4 統計資料を読み取って書く 5 発想を広げて書く 6 レポートを書く 7 論文を書くために 4 自己PRと面接 1 自分を見つめて 2 効果的な自己PR	・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解し、小論文の基本的な書き方を理解する。また、文章や統計資料から読み取ったことをふまえて論点を整理して、小論文を書いてみる。レポートの基本的な書き方も理解し、論文を執筆するための方法を理解する。 ・経験から得たこと、自分の長所などを他者の意見も聞いて見つける。自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書いてみる。
3 学期	4 自己PRと面接 3 将来の自分を考えよう 4 志望理由を書こう 5 自己推薦文や学修計画を書く 6 面接にチャレンジ 7 グループディスカッションをしよう	・自分の将来を考えたり職業について調べたりしてまとめ、具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。また、書類だけでなく相手と適切な言葉遣いや態度で受け答えができるようにする。